

■ 令和元年度 第9回 秋葉区自治協議会

日時：令和元年12月27日（金）午後1時

会場：秋葉区役所6階 601・602 会議室

1 開会

（阿部副会長）

皆さま、こんにちは。外は荒れ模様になってきましたけれども、ご多忙の中、ありがとうございます。今年も今日を入れて、あと5日となりました。本日の自治協議会会議で今年を締めくくられるという方が多いのではないのでしょうか。

積雪のない年の暮れではありますけれども、私の地域の小学校では、インフルエンザが猛威を振るっていたようです。皆さまの地域はいかがでしょう。今日の昼のニュースを見ていましたら、今度は鳥インフルエンザの話がまた話題になっていました。広がらないことを願っています。

さて、先日11月29日の第8回自治協議会本会議のあとで、秋葉区選出市議会議員の皆さんと自治協議会委員で意見交換を行ったところです。5月に5人の議員さんで秋葉区議員団を結成して活動されているとのことでした。議員として取り組まれた活動を報告していただいたり、秋葉区を活性化するために考えておられることを述べていただいたり、趣味や座右の銘を伺ったりと、大変活発な意見交換となりました。

では、第9回自治協議会を始めます。今日は、金子会長に代わって進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

始める前に、新潟日報社さんから取材の協力依頼をいただいております。写真撮影・録画・録音など許可してよろしいか、お諮りしたいと思います。いかがでしょうか。

（「異議なし」の声）

異議ないようですので、許可することにいたします。

次第に基づきまして、進めさせていただきます。

2 議事

（1）第3回秋葉区自治協議会提案事業検討委員会の開催について

最初に、次第（1）第3回秋葉区自治協議会提案事業検討委員会の開催について、私から報告させていただきます。

12月13日に第3回秋葉区自治協議会提案事業検討委員会をいたしました。その報告

をいたします。今回は、来年度の自治協議会提案事業の事業内容及び各事業への予算配分について協議いたしました。

資料1をご覧ください。「課題解決きらめきサポートプロジェクト」は継続となりますが、来年度は第1部会を主として、第2部会、第3部会においても取り組んでいきます。予算額は228万円です。

次に、金子会長が提案された「秋葉区民幸福度調査」は、アンケート調査を行い、幸せな区づくりのための課題を明確にすることを目的に、現行の部会の枠を超え、特別部会を設けて取り組んでいきます。予算額は111万1,000円です。

「地域と福祉施設の連携づくり」は、第2部会で来年度も継続し、地域と福祉施設の顔の見える関係づくりを目指して取り組んでいきます。予算額は10万円です。

「公共交通機関利用促進」も第2部会の事業となります。これも継続となりまして、公共交通機関の利用促進のため、区バスの運行ガイドや携帯に便利なポケット時刻表を作成いたします。予算額は25万円です。

「コミュニティFMを活用した自治協PR事業」は広報部会事業となります。あきはくはつものがたりや提案事業のCM放送及び秋葉区内の温泉施設のPRを継続して取り組みます。予算額は87万9,000円です。

各事業の予算内訳は、資料最終ページの予算書（案）のとおりです。ご覧ください。

項目ごとの説明は、資料のとおりですので省略させていただきますが、課題解決きらめきサポートプロジェクトの委託料だけ補足します。委託料の算出根拠ですが、過去に採択された事業に実際支払った委託料と過去に採択した事業数と委員の負担がどうだったかを振り返り、委託料45万円で5事業採択するとししました。ただし、実際に募集する際には、今年度のように「委託料30万円・採択事業数4事業」と募集するのではなく、委託料の上限45万円だけを示して募集することに意見がまとまりました。

提案事業検討委員会では、この事業調書（案）及び予算書（案）の内容で承認させていただきましたが、ご意見や質問などがありますでしょうか。いかがでしょうか。

ご意見がなければ、来年度は、この事業調書及び予算で提案事業に取り組んでいくことでよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

ありがとうございます。では、本会議においても承認されたということで、来年度はこのとおり取り組んでいきますので、よろしく願いいたします。

(2) 令和2年度秋葉区特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案に対する回答書の提出について

次に、次第(2) 令和2年度秋葉区特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案に対する回答書の提出について、こちら私より報告いたします。

資料2をご覧ください。先月の本会議において、皆さんから出された意見を「すきまのない福祉のまちづくり」、「地域資源が相互に活かされるまちづくり」及び「メインとなる施策の明確化」の3点にまとめさせていただき、市へ、回答書を提出しましたことを金子会長に代わりご報告いたします。

ただいまの件について、ご意見・ご質問はありませんか。よろしいでしょうか。

なければ、これで次第(2) 令和2年度秋葉区特色ある区づくり予算に係る事業の企画立案に対する回答書の提出についてを終わります。ありがとうございました。

(3) 秋葉区自治協議会委員研修会の開催について

次に、次第(3) 秋葉区自治協議会委員研修会の開催について、地域総務課の小野課長より説明をお願いします。

(地域総務課長)

資料3をご覧ください。秋葉区自治協議会委員研修会の開催についてのご案内です。

これまで区の自治協議会の研修会は、江南区や南区と合同で行っておりましたが、今年度は、提案事業検討委員会から提案があり、来年度に自治協議会提案事業として取り組みます「秋葉区民幸福度調査」についてワークショップを行います。

開催日時は、2月14日金曜日、午後1時半から午後4時半まで、会場は秋葉区役所4階401会議室です。出欠の回答は、このあとの部会または来月の本会議の際に、事務局に提出していただきたいと思います。

ワークショップでは、調査の取り組み方や調査結果の活用方法などについて皆さままでアイデアを出し合い、より充実した事業にしていきたいと思いますので、多くの方からのご参加をよろしくお願いいたします。

(阿部副会長)

ありがとうございました。ただいまの件について、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。

スケジュールを調整していただいて、ぜひたくさんの方に参加していただけたらと思います。ただいまの件について、ほかになければ、これで次第(3) 秋葉区自治協議会委員研修会の開催についてを終わります。ありがとうございました。

(4) その他

ア 各部会活動報告

次に、次第(4) その他です。最初に、各部会の活動報告をお願いいたします。第1部会、第2部会、第3部会、広報部会の順番で報告をお願いします。時間の都合により、ご意見・ご質問は、すべての部会からの報告後とさせていただきます。

第1部会の小林部会長より報告をお願いします。

(小林委員)

第1部会の小林でございます。きらめきサポートプロジェクトの今年度の進捗状況をお知らせいたします。まず、1番目「新津川おかえり*灯りプロジェクト」は10月13日に終了いたしました。それから2番目「土づくり農えん隊」はキットを作って来年の2月頃に最後のワークショップをして終わるという予定になっています。それから3番目「秋山分岐点地図標識設置事業」ですが、これはあとは設置するだけになっているのではないかなと思うのですが、伊藤委員、どうですか。

(伊藤委員)

場所を決定していました。今月13日に実際に歩いて3か所をつければ。

(小林委員)

4か所ですね。ご苦労さまでした。ということで、あとは設置するだけという状況でございます。

4番目、小須戸と新津の地区がコラボした「ひなと町屋」及び「ひなとお宝めぐり」ということで、3年前からやっています小須戸のものに新津が今年は加わって行くことになったのですが、現在、新津では非常に盛り上がってしまして、商店街関係では25店舗以上、それから中央コミュニティ協議会と秋葉区社会福祉協議会で企画し、新津地域交流センターに秋葉区の幼稚園と保育園で作成した「つるしびな」の展示をいたします。各園二つずつ提供していただきますので、60個以上の「つるしびな」が交流センターのホールに飾られます。秋葉区全体から子どもの親御さん及びおじいちゃん、おばあちゃんたちが来るのではないかと。それでその人たちがまたスタンプラリーを利用して、新津では3店舗以上、小須戸でも3店舗以上回るとお菓子がもらえるというような仕掛けを作っていますので、非常に大きな人の流れができるような気がします。

(阿部副会長)

続いて、第2部会の佐藤部会長、お願いいたします。

(佐藤委員)

第2部会の佐藤です。よろしくお願いいたします。11月のイベントを終わってから生活交通改善プランについての検討、それから災害時における地域と福祉施設の連携づくりについて取り組んでまいりました。

まず、生活交通改善プランについてであります。今日お手元に資料が配られていますが、12月3日に第1回検討会議を開催させていただきました。話し合った内容については下のほうに書いてありますのでよろしいのですが、その中で、やはり一番問題になったのが、改善プラン自体はとてもいいプランなのだけれども、それをどのように実行していくかという具体的な改善プランにまでなっていないというところが一番問題ではないかという話し合いが行われました。それらを受けまして、これからまた続けていくわけですが、第11回に新プランに向けて意見聴取ということで、またここでも話し合ってくださいことになるかと思っておりますので、委員の皆さん方からできれば生活交通改善プランについて、少しお考えをまとめておいていただくと有り難いかと思っております。

次に、災害時における地域と福祉施設との連携づくりでありますけれども、まずは実態が分からないとだめだということで、今年度中に何らかの形で実態調査をやって、それぞれの施設がどのような要望を持っているのか、地域がどんなふうに関心を持っているのかについて、ある程度調べて、それをもとに来年度、どんなことができるのかということについて考えていきたいと考えております。

(阿部副会長)

ありがとうございました。続いて、第3部会の島倉部会長、お願いします。

(島倉委員)

第3部会からの報告です。後期の「あきは子ども大学」については、なかなか調整がつかないで進まない状況であります。2月から3月にかけて計3回開催をするよう、そして来月に参加者の募集を行うように頑張って調整していきたいと思っております。

また、平成29年度から今年度までの3年間の「あきは子ども大学」での活動をまとめた「あきは子ども大学マップ」を年度内に作成して、各学校や公共施設に配布する予定です。

来月の1月31日の自治協議会の前に第2回教育ミーティングが開催されます。第3部会の委員が中心に参加する予定になっていますが、第1部会、第2部会の皆さんからもぜひご参加いただき、子どもたちの教育や安全について、ぜひ意見を交換したいと思っておりますので、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

来年度の第3部会の活動については、第1部会が幹事部会となる課題解決きらめき

サポートプロジェクトへ参加するほかに、地域の教育力の向上のために自治協議会として何ができるのか、部会の中でまた検討していきたいと考えています。

(阿部副会長)

ありがとうございました。広報部会の田中部会長、お願いいたします。

(田中委員)

広報部会の田中です。お手元にもあると思いますが、おかげさまで12月15日に「かわら版」23号を発行いたしました。ご協力ありがとうございました。

コミュニティのFMを活用したPR事業では、協議会の皆さまから多く参加していただきまして助かっております。これは協議会の皆さまが部会のことを宣伝すると同時に、一人一人の個性がよく聴けるような構成となっております。私もよく聴くのですけれども、大変楽しみにしております。

来年、第1部会は宮腰委員にお願いいたします。それから、第3部会は松田委員にお願いをいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(阿部副会長)

第1部会、第2部会、第3部会、広報部会と報告いただきました。ただいまの件について、ご質問・ご意見はございませんか。第1部会からまいりましょうか。いかがですか。

私からいいでしょうか。ひなまつりはとても楽しみにしておりますが、期間というのはもう決まっていますか。

(小林委員)

期間は2月1日から3月8日までということです。ひと月ちょっとの間、行います。

(長谷川委員)

民児協の長谷川です。私は小須戸に住んでおりますので、ひなの町屋めぐりの様子は毎年見ているのですけれども、小須戸では桃色ののぼり旗が、参加しているお店に立つのですけれども、それは新津地区にも立ちますか。

(小林委員)

立ちます。新しいものを作りました。

(長谷川委員)

同じようなものですか。

(小林委員)

「鉄道のまち新津ひなとお宝めぐり」ということで、同じようなデザインで、小須戸は町屋のイラストですし、新津はSLのイラストを使った旗ができました。

(長谷川委員)

桃色ですか。

(小林委員)

同じです。

(長谷川委員)

とても柔らかくて町の中が明るくなるので、新津も一緒に楽しみにしています。

(小林委員)

ぜひ、これからも一緒にやれるように、すごくいい雰囲気と一緒に手を取り合ってやっています。

(長谷川委員)

よかったです。ありがとうございます。

(阿部副会長)

貴重なご意見ありがとうございました。「鉄道のまち新津ひなとお宝めぐり」の件でした。ほかに、ございませんか。

次に、第2部会にご質問・ご意見ございませんか。第3部会はどうでしょうか。子ども大学を頑張ってやっていただいている、やはり勢いがあるときといろいろあるのでしょうか。でも今度はまとめのマップが手に入るということで、楽しみに待ちたいと思います。

(小林委員)

第2部会の公共交通の中に、区バス、住民バスに関して書いてありますし、路線バスの再編のことも出ているのですが、乗合タクシーみたいな構想というのは議論に挙がっているのでしょうか。

(佐藤委員)

具体的に、そこまではまだ話がっていないのですけれども、先回の第1回はそれぞれ業者さん方にも集まっていたいただきましたので、その方々が現在頑張っているようなこと、それから各委員からは地域の実態などを含めて要望などを突き合わせた程度でございます。それで乗合バスとか住民バスとか、そういうことも全部、現在のプランの中に盛り込まれているのですが、それをどうやって実行するのかという辺りが今までなかったもので、結局、改善プランはプランで終わったのではないかなというようなご意見があったわけです。

それで、それらも含めてですけれども、どんな形になるのか私も分かりませんが、私の個人の考えとしては、いわゆるJR、それから新潟交通という基本的な機関とな

るようなものについては、例えば現状をなんとか維持するような、増便とかというのは難しいですので、そういうような努力をしていただく。それに接続するような形はどのような形がとれるのか。それは各業者さんもいらっしゃいます、さくら交通さんといった方たちがいろいろなアイデアを持っていらっしゃいますので、それらを含めて、そこに接続するためにどういうふうな形をとっていったらいいのか。それから、各病院のバスもごさいます。それらも何かうまい具合に連携が取れば、少しは利用者が増えるのではないかと。

それから、それでもなおかつだめな場合、人々のためにどんなことができるのか、そこら辺は、さすがに自治協議会でやるわけにはいきませんし、地域でもやるわけにはいきませんし、やはり地域とそれから業者さん辺りが協力していかなければいけないわけですので、そういうことについては業者さんと地域をどうやって結びつけていくかというような辺りを改善プランの中に盛り込んでいければいいなという私の個人的な考えでございます。

したがって、いつまでに誰がどのような努力をするのか、それに対して行政がどういう援助をしていくのかという辺りが明確になってくれるような改善プランにしたいなとは思っています。最終的にはどのような決定になるか分かりませんが、行政の方々が私たちの意見を吸い上げて、いろいろ知恵を巡らせて挙がってきた意見をうまい具合にまとめて、先ほど私が言ったみたいなの、誰がどこでどのような努力をすればいいのかという辺りが見えてくるといいなと考えております。

(阿部副会長)

先ほどの部会長のお話のときに、私たち委員にも、それぞれが公共交通機関について、生活交通について考えをまとめておいてほしいという要望がありました。宿題が出ていますので、皆さまご検討をお願いいたします。

ほかに、ありませんか。よろしいですか。なければ、次にまいります。

イ 秋葉区男女共同参画地域推進員企画事業の開催について

次は、秋葉区男女共同参画地域推進員企画事業の開催について、地域総務課の小野課長より説明をお願いします。

(地域総務課長)

「夫婦の始まりから終活に向けて」というチラシをご覧ください。これは秋葉区男女共同参画地域推進員企画事業となります。この事業は、地域における男女共同参画の推進を図るため、秋葉区の男女共同参画地域推進員の方々から企画していた

だいた事業となります。

今回は、「夫婦の始まりと終活に向けて」と題しまして、男女の役割をテーマに夫婦や終活について講演していただくというものです。

講師には、みちつき助産院の院長の更科佳子氏と角田山妙光寺の前住職の小川英爾氏をお招きしております。チラシ記載の二次元コードから申し込みができますので、委員の皆さまからもぜひご参加いただきたいと思っております。

また、もう一つお願いがございます。資料はございませんが、8月にこの会議でご説明いたしましたアキハスムのSNSフォトコンテストの投稿状況についてご説明いたします。このフォトコンテストは、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターのいずれかでアキハスム公式アカウントをフォローしていただき、秋葉区の六つの魅力である「里山、鉄道、歴史、花、川、食」にまつわる写真にハッシュタグをつけて投稿するというもので、現在130件を超える投稿をいただいております。

締め切りは2月2日となっております、あと1か月ほどになりましたが、この六つの魅力のうち「川」についての投稿が、ほかに比べて非常に少ないということで、ぜひ秋葉区を流れる「川」の魅力について、委員の皆さまからもご投稿いただいたり、また、お近くの方に広報していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

入賞作品には、Akiba女子が選ぶ賞品5,000円相当のプレゼントもがございますので、ぜひぜひ広く広報いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(阿部副会長)

ありがとうございました。ただいまの件について、ご意見・ご質問はありませんか。我と思わん方は「川」について、ぜひ投稿して賞品をゲットしていただけたらいいと思います。

ウ 健康・自立フォーラムの開催について

次に、健康・自立フォーラムの開催について、健康福祉課の明間課長より説明をお願いします。

(健康福祉課長)

健康福祉課です。よろしく申し上げます。健康・自立フォーラムのご案内です。

1月26日、13時30分から15時30分まで、秋葉区文化会館のホールにおきまして、フォーラムを開催いたします。このフォーラムは、薬科大学とのまちなか活性

化実行委員会の健康部会で企画をしております、健康づくりをテーマに行う講演会となっております。

講師には、薬科大学の富永佳子教授と、それから新潟お笑い集団NAMARA代表の江口歩さんをお迎えして実施をする予定です。委員の皆様方にもぜひご参加いただきたいと思ひまして、ご案内をさせていただきます。こちらのフォーラムは入場は無料となっておりますが、整理券が必要でございます、整理券についてはチラシ左下の配布場所、こちらの区役所でも配布しておりますので、整理券をお持ちになって参加をいただきたいと思ひます。本日、お帰りの際に声をかけていただければ1階の健康福祉課でお渡しすることができますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(阿部副会長)

ありがとうございました。健康・自立フォーラムの開催について、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。整理券が必要ということなので、よろしくお願ひいたします。

エ 秋葉方面隊消防出初式の実施について

次に、秋葉方面隊消防出初式の実施について、秋葉消防署の進藤署長より説明をお願いいたします。

(秋葉消防署長)

秋葉消防署の進藤でございます。日頃から消防業務にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

本日は、令和2年の消防出初式のご案内を申し上げます。新春恒例の秋葉方面隊出初式を1月19日の日曜日、10時から新津本町2丁目交差点から3丁目交差点にかけて実施いたします。消防団員及び消防車両の行進並びに放水を実施いたします。

また、当日は新津第五中学校吹奏楽部による演奏もご覧いただけます。お誘い合わせの上、お越しくださいますようお願いいたします。

なお、右下の四角囲みの部分は、新潟市全体の出初式のご案内です。秋葉区は1月19日の日曜日ですので、よろしくお願ひいたします。

現在、暴風警報発令中でございます。年末年始は慌ただしさから火の取り扱いが疎かになる時期でもございます。楽しいお正月を皆さんで迎えていただくためにも、火の用心をよろしくお願ひいたします。

(阿部副会長)

ありがとうございました。秋葉方面隊消防出初式について、何かご意見・ご質問
ございませんでしょうか。

次に、第2回秋葉区教区ミーティングの開催について、教育支援センターの栗田
所長より説明をお願いいたします。

(教育支援センター所長)

秋葉区教育支援センターの栗田です。お世話になっております。先ほど島倉委員
からご紹介がありましたので、繰り返しになってしまいますけれども、第2回秋葉
区教育ミーティングのご案内を、前回の自治協議会の折に資料として入れさせてい
ただきましたが、来月1月31日の自治協議会前に行わせていただきたいと思いま
す。

そこで、内容にも書いてあるのですが、後半最後にグループディスカッションが
ある都合上、出席の確認をさせていただきたいと思っております。第3部会が中心
になりますけれども、第1部会、第2部会の皆さまからも、この会場で自治協議会
前ということですので、ぜひご参加いただきたいと思っております。

本日の資料の中に、出欠確認票を入れさせていただきましたが、お帰りの際7に、
出口のところの木の箱に出していただくか、未定の場合は1月10日(金)までに
本用紙を教育センターにFAXでいただくか、直接お電話いただければ有り難いで
す。どうぞよろしくをお願いいたします。

(阿部副会長)

ありがとうございました。秋葉区教育ミーティングについて、何かご意見・ご質
問はございませんか。

先ほども島倉部会長からありました、秋葉区の子どもたちの安全を守るというこ
とで、ぜひたくさんの方にご参加いただけたらと思います。今日出していくとお忘
れにならないので、ぜひお願いいたします。なければ、次にまいります、よろし
いですか。

オ にいがた秋葉っ子ふゆまつりについて

次は、にいがた秋葉っ子ふゆまつりについて、佐々木委員より説明をお願いいた
します。

(佐々木委員)

こんにちは、お疲れさまです。チラシにありますように、来年の2月9日、10時
30分から3時30分まで、秋葉区総合体育館におきまして、にいがた秋葉っ子ふゆ

まつりを開催いたします。寒くてなかなかおもてで遊べない新潟の冬にということで、今回で13回目を迎えます。毎年たくさんの親子に訪れていただいており、昨年も2,000人ほどの集客がございまして、たくさんの企業の皆さん、団体の皆さんからご協力をいただいております。下に協賛団体企業一覧が書いてありますが、ここにいらっしゃる皆様方にもご協力いただいております。大変ありがとうございます。この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

裏面をご覧くださいますと、各それぞれのステージイベントなどもスケジュールが書いてございます。東村さんをアナウンサーに迎えまして、ここで楽しい一日を過ごしていただきたいということで、たくさんのブースが入っております。本当に企業、そして官民融合の珍しいタイプのお祭りです。県庁さんも、そして社協さんも一緒に、この日は一日子どもたちのために力を尽くしましょうというお祭りになっております。ぜひ皆さんもお子さん、お孫さん、ご家族皆さんで訪れていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(阿部副会長)

13回ということで、すごい年月をかけて形ができあがってきたのかと思います。いかがでしょうか。ご意見・ご質問ありませんか。

(佐々木委員)

佐々木です。委員の皆さんにポスターを1枚ずつお渡ししてしまいましたが、どこにでも貼っていただいて大丈夫ですので、目立つところにぜひお貼りいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(阿部副会長)

ポスターが足りない方はいらっしゃらないでしょうか。足りない方は佐々木委員にお申し出ください。私は何枚でも貼りに行きます。いかがでしょうか。ほかにありませんか。

今日はトントン拍子にきましたけれども、なければ、これで議事を終了いたしたいと思います。進行を事務局にお返しいたします。

3 閉会

(島倉委員)

令和元年の最後の自治協議会の会議がトントン拍子で終了いたしました。皆さんお疲れさまでした。国政を見ていると何か暗雲が垂れ込めていて、桜の疑惑とか国会議員の逮捕とか、年の瀬が押し迫っているのに、ちょっと嫌な雰囲気なのですが、ラグビーの

ワールドカップでは本当に秋葉区出身の稲垣啓太選手の活躍で元気をもらって大変嬉しく思っています。そしてテレビを見るたびに笑わない男の顔を見て、本当に笑っていないのだろうか、じっと見えています。

もう五つ寝るとお正月です。歳を取るとお正月が来なくてもいいなと思うのですが、子どもの頃はお正月が来るのをすごく楽しみにしていて、歌を歌って指を数えて待っていたのですが、それも平等に歳がもらえるとということで、歳に負けないように頑張っていきたいと思います。どうぞ皆さまもインフルエンザや風邪をひかないで、心穏やかな年末、そして新年を過ごしてください。そして、また1月には新しい年を迎えて、みんなで秋葉区をよくするためにワンチームで頑張っていきたいと思います。以上です。どうもありがとうございました。

(事務局)

島倉委員、どうもありがとうございました。

最後に、今年最後の本会議となりますので、夏目区長より一言ごあいさつをさせていただきますと思います。

(区 長)

区長の夏目でございます。せっかく今、島倉さんからしっかり締めていただいたところなのですが、今年、結びの自治協議会ということで、ぜひ一言あいさつをさせていただきますと思います。

日頃から金子会長をはじめ委員の皆さまには毎月の本会議、また部会、各種事業にご参画をいただきまして、それぞれで熱心なご議論を展開していただいていることに心から御礼を申し上げたいと思います。

この1年を振り返りますと新潟市政、中原市長になりましてから2年目ですが、開港150周年の記念の年ということで各種事業を多く展開されました。また、G20の閣僚会合ですとか国民文化祭など、全国でも数少ない一か所であったかと思えます。

市民生活におきましては、防災面での課題も明らかになりましたし、また市の財源不足によります集中改革プランという言葉がだいぶ行き交ってございます。また、公共交通の問題など、いくつかの課題を持ちながらも市民の皆さまに負担を感じさせる状況になりながらも、この1年を過ごしてきたというところだと思っております。

秋口以降につきましては、今、島倉さんがおっしゃっていただきました、稲垣選手の活躍。市報にいがたの1面がどちらも秋葉区ということで、秋葉区が市報をジャックしたような状況でございますが、次の1月5日号で2回続くのです。これを言うとネタバレになってしまいますけれども、おそらく1面は稲垣選手ではないかなと思います。中

原市長が区役所でスポーツ大賞特別賞を贈ったというそんな写真になるのではないかと今、推測しております。

また、もう一つ別のスポーツになりますが、プロ野球では中日ドラゴンズの笠原投手、春先には日本代表でもありましたけれども、私は長く応援してございますが、先週の日曜日にこちらに来られて野球教室と激励会が開かれたということでございますが、年末年始も休まずトレーニングをするということで力強い言葉を語っております。

こういったスポーツのトップ選手が一例でございますけれども、秋葉区で過ごした子どもたちが世界に羽ばたいていくという姿を見るのは本当に私たちも心強いですし、お住まいの皆さんも誰もが知り得る報道の中で、誰もが知る得るような状況であるということは、本当に誇りになるものだと思いますので、こういった秋葉区に住むことの誇りにつながっていくような要素を一つでも増やしていけるような取組みを皆さまと一緒に、これからも進めてまいりたいと思っております。

この1年、大変お世話になりました。皆さま、すこやかなお年をお迎えください。ありがとうございました。